



葦

大阪発達総合療育センター機関紙
第10号 平成25年6月

社会福祉法人 愛徳福祉会

大阪発達総合療育センター

Osaka Developmental Rehabilitation Center

保険医療機関 南大阪小児リハビリテーション病院

職員研修実施状況

H25年4月～5月

当センターでは、質の高いチーム医療の提供をめざして、様々な職員研修を行い、技術の向上と知識の蓄積を図っております。

実施日時	企画部署	研修名	講師	参加人数	場所
平成25年4月3日(水) 15:50～17:00	教育研修部	人権研修～児童虐待について～	聖家族の家 センター理事 植山 悦子	86名	5階ホール
平成25年5月20日(月) 15:00～16:00	看護部	新人研修 「てんかん」	小児科 飯島医長	11名	教室①
平成25年5月28日(火) 15:00～16:30	看護部	新人研修 「一次救命処置」	小児外科 堀川部長	11名	2F学習室
平成25年5月31日(金) 18:00～18:45	リハ部・看護部	摂食・嚥下の基礎 摂食嚥下障害を学ぶ～食事時間を安全で楽しく、 美味しくするために	リハビリテーション部 伊藤次長・濱田主任	50名	PT室

感謝

【寄付金と寄付物品】

大阪発達総合療育センターへの
御理解・御協力
誠にありがとうございます

一般寄付金

寄付者 (敬称略)	寄付額
3月分	3月楽基金 (2件)
4月分	4月楽基金 (5件) 廣田和子
5月分	5月楽基金 (20件) 東成区民生委員協議会 国際ソロプチミスト中央一大阪

5月29日に国際ソロプチミスト大阪中央認証10周年記念式典が執り行われ、梶浦理事長が祝辞を述べさせていただきました。

寄付物品

寄付者 (敬称略)	物品名
4月分 大阪府玩具・人形問屋協同組合連合会 黒田司	玩具、人形 多数 自動車(ステーションワゴン)



イベントトピックス

卒・退園式

3月24日、卒・退園式を行いました。今年は5名の子ともたちが小学校に入学、10名の子ともたちが地域の保育所・幼稚園へ入園の為、卒園しました。
卒園証書授与では、鈴木センター長より一ずつ証書を手渡され、保護者・職員とも子とも達の成長を改めて感じ、感動の場面となりました。
卒園園児の皆さん、新しい環境でも頑張ってくださいね!



入園式

4月7日、入園・進級式を行いました。7名の新入園児は皆さんとても緊張している様子でしたが、在園児の温かい拍手に包まれながら会場に入場すると、緊張も解れようとして笑顔が見られました。
園児の皆さん、今年もいっぱい遊んでいっぱい笑いましょうね!



平成25年度永年勤続表彰について

平成24年5月2日から平成25年5月1日までの間に勤続20年または勤続10年となる職員に対して梶浦理事長より表彰状及び副賞が授与されました。

【対象者】

◎勤続20年(2名)

野津 順子	リハビリテーション部	事務
竹中 洋子	看護部2階病棟	准看護師

◎勤続10年(8名)

中村由貴子	医務部歯科医長	歯科医師
内山 環	看護部3階病棟主任	看護師
宮崎 和歌	看護部2階病棟	看護師
三好 愛恵	遊園部なでしこ主任	保育士
油井 道子	事務部人事課	事務
小川 早代	医務部歯科	歯科衛生士
菅 直樹	介護療育部4階病棟	生活指導員
池田 聖子	介護療育部4階病棟	生活指導員

三施設職員親善球技大会

2013年5月17日に行われた三施設職員親善球技大会に参加し、優勝することができました。例年はソフトボールでしたが、今年からは「ホッチャ」が競技として採用されました。ホッチャは重度障害がある人のためのスポーツで「パラリンピックの正式競技」です。ルールは冬季オリンピック競技の「カーリング」に似ています。赤と青のチームに分かれジャックボール(目標球)に向かってボールを投げる競技で誰でも参加しやすく、また、高い攻撃性が求められます。はじめて参加した職員でしたが、当日はとて盛り上がりました。その後の懇話会では他施設の方々と一緒に話すごができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。今後2年間はホッチャの予定です。3連覇を目指してがんばりましょう。



大阪発達総合療育センター

URL : <http://osaka-drc.jp>

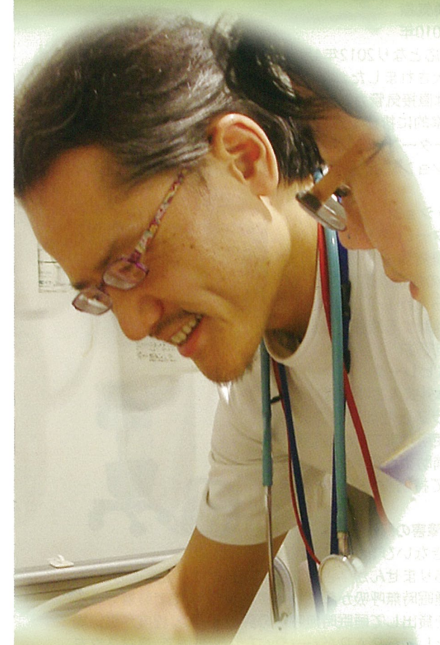
【保険医療機関】 南大阪小児リハビリテーション病院
 【児童福祉施設】 南大阪療育園 障害児入所・通所支援事業(肢体不自由児) フェニックス 障害児入所・通所支援事業(重症心身障害児者)
 【指定訪問看護事業】 訪問看護ステーション めぐみ

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂 5-11-21
TEL 06-6699-8731 FAX 06-6699-8134

発行者・社会福祉法人 愛徳福祉会
発行責任者・梶浦一郎

【児童福祉施設】 あさしお園 障害児通所支援事業(肢体不自由児) ゆうなぎ園 障害児通所支援事業(聴覚児)

〒552-0004 大阪市港区夕風 2-5-3
TEL 06-6574-2521 FAX 06-6574-2524



社会福祉法人 愛徳福祉会 理事長

梶浦 一郎

■シスターマルタ村山を偲ぶ

聖母整肢園生みの親だった聖ビンセンシオアパウロ愛徳姉妹会のシスターマルタ村山が平成25年3月27日に死去されました。

昭和43年に「大阪で新しく肢体不自由児施設を作るので引き受けてくれないか?」との依頼を受け、井上明生先生とシスター村山達で計画を立て、昭和45年に聖母整肢園を設立しました。

私達には病院経営の事もわからず勝手な事をして、シスター村山を悩ませたと思います。給料の遅配もありました。しかし、シスター村山は嫌な顔もせず、私たちの理念の実現を目指し、大変な努力をされました。40名位で始めた事業が今では400名の職員になり充実した施設になったのもシスター村山の私達に対する信頼と援助、努力の賜物と思います。
シスターマルタ村山の御冥福を心からお祈りします。



大阪発達総合療育センター長

鈴木 恒彦

■特集によせて

今回の特集は「当センターの呼吸ケア」と「医事業務の紹介」です。重症児者に限らず私たちの健やかな生活に呼吸はとても重要です。当センターでは2009年に呼吸器外来を開始しました。その中心を担っておられるのが、竹本潔小児科部長です。竹本先生はフェニックス開設当初から利用者をご家族に寄り添い続けてこられました。高度な技術と知識に裏打ちされた現在の呼吸ケアを要点としてまとめてくださっています。ぜひ一読ください。

医事業務の紹介は、制度改正や各部署の多岐にわたる成果を確実かつ適正にレポートするために尽力されている富中章好医事課長にお願いしました。医事業務は縁の下の力持ちでありながら、センターの窓口＝顔でもあります。現在、オーダーリング導入に向けて苦労をかけておりますが、これを機に、職員の皆さんに医事業務について関心を寄せていただければと思います。



